

※ かい答は、《かい答用紙》に書きましょう。

学級新聞の「みんなで読みたい！この一さつ」というコーナーに記事を書くことになった山本さんと小谷さんは、小川未明の『笛と人の物語』を読んで、感じたことを話し合いました。次の【物語の一部】と【話し合い】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【この場面までのあらすじ】

ブリキ屋のわか者は、あめ売りのおじいさんがふくチャルメラの音を聞きたびに、まだ行ったことのない、チャルメラが生まれた外国を思いうかべ、あこがれをもっていました。しかし、しだいにチャルメラの音が聞こえなくなってしまったのです。

【物語の一部】

正直なブリキ屋のわか者は、それでも、あめ売りのおじいさんが笛をふいて来るのを、毎日のように待っていました。その笛の音が大好きだったからです。そのうちに、おじいさんは来なくなりました。

「どうしたのだろう？」と、毎日のように待っていましたが、それは、むだに終わりました。そのはずで、おじいさんは死んでしまったのであります。

おじいさんが大事にして、日ごろふいていたチャルメラは、古道具屋の店にむき出しに置かれました。もともとが、そまつな笛でありましたから、人目にもつかずに、いく年もそこに、ほこりのかかったまま投げ出されていました。

しかし、また、物好きな人がありました。あるとき、それを取り上げてみて、「これは、昔、外国から来た笛だな。」と言って、買いました。

その人は、別に、笛にしゅ味をもったものではありません。ただ、めずらしい品を集めるといっただけでした。だから、もうそのチャルメラが、具合が悪くなって、よい音を出さなかったけれど、それを苦にもしなれば、それを持っているばかりで満足しました。

※1 ブリキ屋：金ぞくの板を加工する仕事。

※2 チャルメラ：ラツパの形をした楽器。笛。



だから、おじいさんが死んでから、チャルメラもまた、日かげにうずもれてしまったわけです。しかし、この物好きな人は、幸いに、あきつばい人でありました。ある日、手もとにあった、いろいろな古物を売りはらったときに、このチャルメラもいっしょに手放してしまいました。

それから、これが、笛の分かる人の手にわたるまでに、また、いく年かかったことでしょう。

「昔から、あめ売りの笛はチャルメラに決まっている。この笛を直して、上手にふいて、あめを売って、町を歩いたら、よく売れることだろう。」

なにか、いい仕事が見つからないものかと、さがしている男は、この笛を見たときにそう思いました。そして、男は、笛を買い求めると、上手にふけるようになるうと練習しました。なんでも熱心になれば、うまくいかないことはありません。だから、教わるということもなく、昔、港で外国人が空を見上げながらふいたように、また、あのあめ売りのおじいさんが鳴らしたように、男は、悲しい、いい音色を出すことができるようになりました。

ここで、昔のチャルメラは、ふたたび①わかいあめ売りにふかれて、毎日いい音をただよわしながら、町から村へと歩いて、多くの子どもらをやび集めていたのです。

このときは、ブリキ屋のわか者は、もうおじいさんになっていました。そして、日のあたるえん側に出て、だんだん春になってゆくのかな空をながめて、遠く聞こえるチャルメラの音に、昔のことを思い出していました。すると、何もかもはつきりと、まだ昨日のことのように目にうつって、②なつかしい気持ちですが、あとからあとから、わいてきたのであります。



一 【物語の一部】の中の——線部①「わかいあめ売り」と同じ人物として、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

- ア ブリキ屋のわか者
- イ あめ売りのおじいさん
- ウ 物好きな人
- エ 笛の分かる人

二 山本さんたちは、【物語の一部】の中の——線部②「なつかしい気持ち」について、次のように【話し合い】をしました。

【話し合い】

小谷さん 「なつかしい気持ち」のところで、おじいさんになったブリキ屋のわが者は、「どんなことを」なつかしく思っているのでしょうか。

山本さん ブリキ屋のわが者は（③）でいた外国に本当に行ったのだと思います。きっと、外国でのいい思い出がたくさんあって、その思い出が、「いい音」がただよってきたことをきっかけにして、「あとからあとから」わいてきているのではないでしょうか。

小谷さん 山本さんは、「いい音」、「あとからあとから」に注目したのですね。わたしは、外国に（③）でいたころのことを思い出していると思います。それは、チャルメラの「（④）」を聞いて思い出したことだから、外国に本当に行ったような楽しいことだけではなく、「悲しい」ことやつらいことも入った思い出だと思うからです。

山本さん 同じ物語を読んでも、いろいろな考え方ができるのはおもしろいですね。ほかの人たちはどう考えるのかも聞いてみたいです。

(1) 【話し合い】の中の二つの（③）に当てはまる同じ言葉を、【この場面までのあらすじ】の中から四文字でさがして書きましょう。

(2) 【話し合い】の中の（④）に当てはまる内ようを、【物語の一部】の中の□から八文字でさがして書きましょう。なお、読点（、）も文字数にふくみません。

(3) 山本さんと小谷さんは、二人の考え方について、同じグループで【話し合い】をした人に意見を聞きました。次の【意見】の中の二つの（⑤）に当てはまる同じ言葉を、【話し合い】の中から漢字二文字でさがして書きましょう。

【意見】



小谷さんは、ブリキ屋のわが者が（⑤）に本当に行ったことがあるのではないかと理由を付けて想ぞうしているように、二人とも、（⑤）という同じキーワードに目をつけて考えているのがおもしろいと思います。

9

国語おうち用力強化シート かい答用紙

番号前（

）

—
□

二

(1)

□
□
□
□

(2)

□
□
□
□
□
□
□
□

(3)

□
□

シート9

正答例^{れい}

一
エ

二
(1) あこがれ

二
(2) 悲しい、いい音色

二
(3) 外国